

『We♥鏡中』

令和8年7月14日

☆彡 古賀稔彦さんに学ぶ…

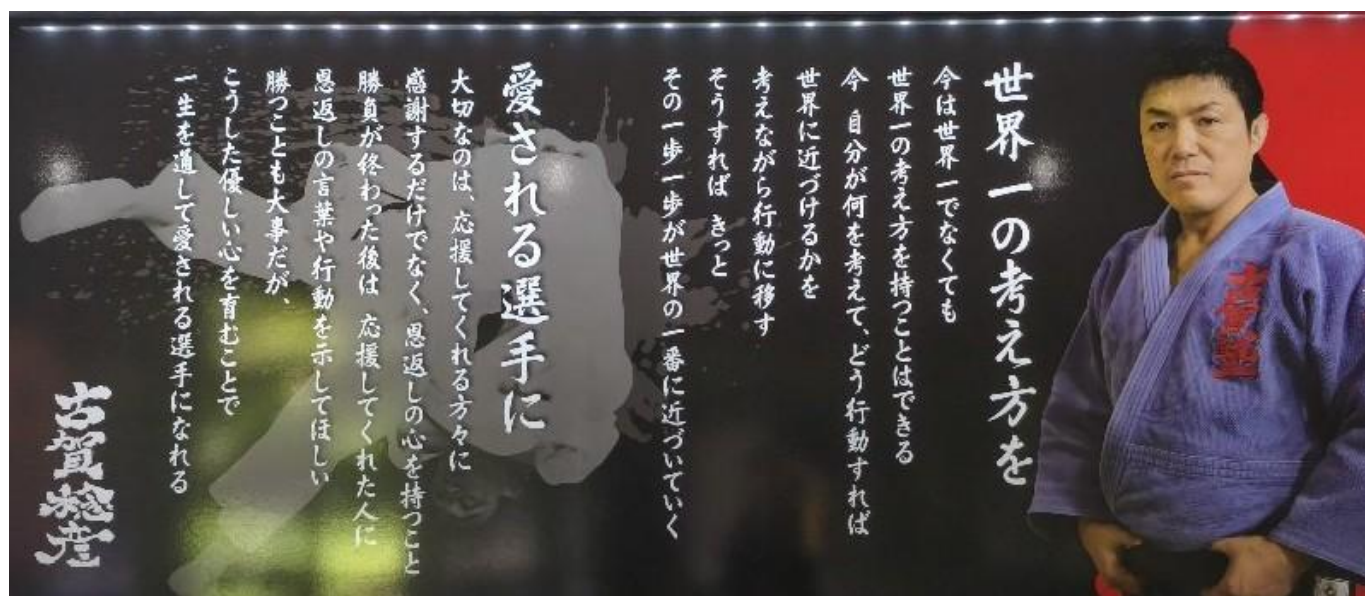
SAGA サンライズパークの SAGA プラザ玄関横に、古賀稔彦さんの写真パネルが掲げてあります。そのパネルには、古賀稔彦さんの2つの言葉が紹介されています。

『世界一の考え方を』

今は世界一でなくても
世界一の考え方を持つことはできる
今 自分が何を考えて、どう行動すれば
世界に近づけるかを
考えながら行動に移す
そうすれば きっと
その一步一步が世界に近づいていく

『愛される選手に』

大切なのは、応援してくれる方々に
感謝するだけでなく、恩返しの心を持つこと
勝負が終わった後は 応援してくれた人に
恩返しの言葉や行動を示してほしい
勝つことも大事だが、
こうした優しい心を育むことで
一生を通して愛される選手になれる



どちらの言葉も、本校の生徒に学んでほしい内容です。スポーツに限ったことでなく、どのように考え、行動すればよいのかを教えてもらえる言葉だと思います。

本校の生徒たちも頑張り、地区中体連で好成績を残して県大会に進むチーム・生徒もいます。九州大会・全国大会への出場権を勝ち取った生徒もいます。残念ながら健闘したものの敗退したチーム・生徒もいます。

しかし、どんな成績を残した生徒にも、この古賀稔彦さんの言葉を胸に刻んでほしいと思います。

おこがましいですが、この古賀稔彦さんの言葉につけ加えるならば、『一緒にきつい練習をしても、試合に出場できなかった仲間がいるかもしれない。また、対戦相手がいないければ試合そのものが成立しない。試合をしてくれた対戦相手に対しても感謝して、恩返しをしてほしい。そして、試合に出られなかった仲間や、途中で敗れ去った対戦相手の悔しさを自分事として受け止め、「彼らの分まで戦う」という使命感を胸に抱いてほしい。自分が喜ぶだけでなく、「他人を喜ばせたい」という想いを強く持って行動すれば、結果として大きな成果や幸運を引き寄せることができる。』と生徒に伝えたいと思います。

本日、多くの生徒の表彰をしましたが、勝つことは『目標』にすぎません。本当に大切な『目的』はその先にあります。そのことを心にとめて、これからも次のステップへ向けて頑張ってもらいたいと思っています。